

強調

※この部分を理解するためには「関係詞」で、名詞を後ろから修飾する仕組みをまず理解しましょう。まだ関係詞を勉強していない方は、まずは「関係詞」の章を読んでください。

英語を使っていると、文中のある内容を「強調」したいときがあります。例えば「先週、彼女はロイとここで話をした」というとき、強調する言葉が「彼女」、「ロイ」、「ここ」のどれにするかで表現が変わってきます。例えば「彼女」を強調するなら、日本語だと「先週ここでロイと話をしたのは彼女だ」になりますね。

同様の強調表現が英語にもあって、そのためには“it is(was)~ that~”という表現方法があります。これを学んで、使えるようになりましょう。

以下の例文を見てください。

She talked to Roy here last week.

「先週、私はロイとここで話をした」

強調したい部分を it was~ の直後に置いて文章をつくと以下のようにになります。
(英文中で下線が引かれている部分が強調されている部分です)

例★It was she that talked to Roy here last week.

先週ここでロイと話をしたのは「彼女だ」※彼女だ、を強調している。

例★It was Roy that she talked to here last week.

先週ここで彼女が話をしたのは「ロイだ」。※ロイだ、を強調している。

例★It was here that she talked to Roy last week.

先週彼女がロイと話をしたのは「ここだ」。※ここだ、を強調している。

※it is(was)の直後の名詞が人なら who/whom を用いて、物ならば which を使いましょう。ただし、これらの who/whom.which の代わりに“that”ならば、人、物どちらにも使えます。

★例文 It was his car which was stolen. (It was his car that was stolen も可)

盗まれたのは「彼の車」だった。

※his car は物なので which か that が用いられています。

他にも以下のような例文があります。

例★It was Sean that I worked with on the project.

そのプロジェクトのために一緒に働いたのは「Sean だ」。

ある文章(になるもの)を強調する方法

前ページでは、I,Roy,here といった単語を強調していますが、節(S+V~)を強調することもできます。例をあげます。

★例文:*It was because I was busy that I couldn't take vacation.*

私が休暇を取れなかったのは忙しかったからだ。

※because~の理由の部分の文章を強調しています。とりあえず、ここは「It is because~that....」=「.....なのは~だからだ」と構文として覚えておきましょう。

★例文:*It was not until I stopped running that I realized I was tired.*

走るのをやめてから、自分が疲れているのがわかった。(走っているときは自分が疲れているのに気がつかなかった)

※「走るのをやめたときに」というときを強調しています。ここもまずは、「It is not~until(till).....」=「....になったのは~になってからだ」と構文で覚えておきましょう。

これらは構文(決まったやり方)として例文を覚えて、強調したいときに応用して使うとよいです。